

今、何の病気が流行しているか！

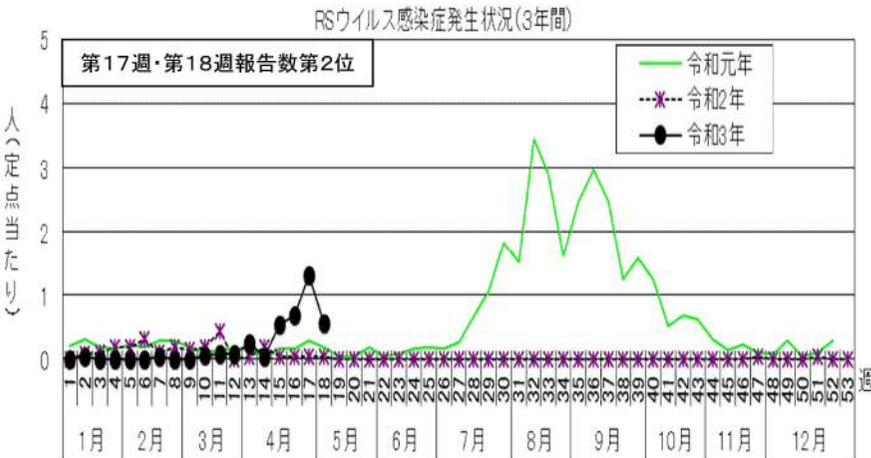
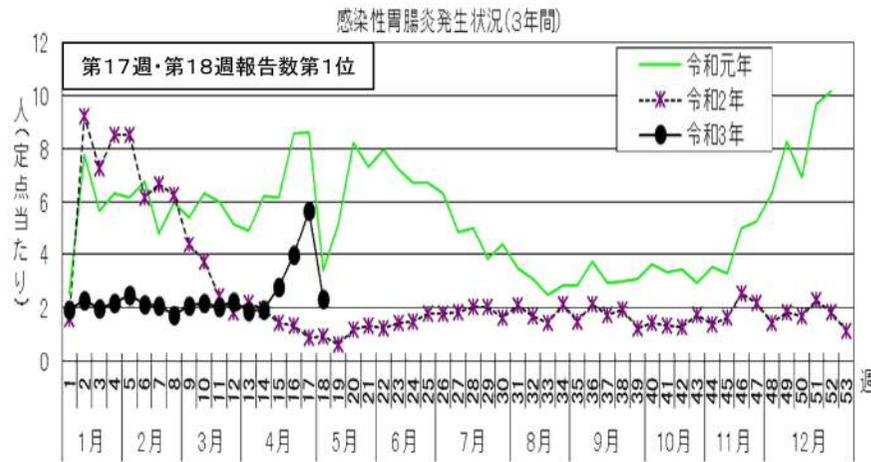
【感染症発生動向調査事業から】

令和3年4月26日（月）～5月2日（日）〔第17週〕及び5月3日（月）～5月9日（日）〔第18週〕の感染症発生状況

第17週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) RSウイルス感染症 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

第18週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) RSウイルス感染症 3) 流行性角結膜炎でした。

第18週はゴールデンウィークで、多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。



市内の新型コロナウイルス感染症発生状況～第3波と第4波の違い～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和3年1月上旬をピークに急激に減少しましたが、3月中旬以降再び増加し、直近2週間の第17週（4月26日～5月2日）及び第18週（5月3日～5月9日）は各々486件、446件の報告がありました。

この2週間と第3波（令和2年第45週～令和3年第4週）を比較すると、いずれも男性の報告数が多く、年齢階級別では20歳代が最多でした。特に直近2週間では、20～40歳代の男性の割合が大幅に増加しています。

若い世代だけでなく40歳代男性の割合も増えていることから、職場などでの感染にも十分注意しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年第1週～令和3年第18週)

